

まだ見ぬ世界へ

美崎理恵

登場人物

ミタカラケイチヤコ

都会。高層ビルや高層マンションが建ち並ぶ街。飲食店や映画館、劇場、カジノなど娯楽施設があり、昼も夜も多くの人々が行き交っている。そんな賑やかな通りを少し入ったところに寂れた公園がある。数本の枯れ木。低木。雑草。形の違う古びたベンチが数個。人通りもなく、街と同じエリアとは思えないぐらい殺風景な風景。

夕方がベンチに座っている。少し離れたベンチではミーが眠っている。

タカ  
いや、別に嫌いじゃないよ。俺に向いてると思ってる。でも何かこう……ささやかでもいいからワクワクするような、そういうあれがあつてもいいと思わないか?

と、ミーを見ると眠つてゐる。

タカ  
お前、寝るなよ……俺の前で寝るなよ……。ま、いいけど?  
いいけどさあ……。  
…。  
でも、寝るなよなあ、俺の前で……。

ケイが走つて登場。

タ力 ケイ タ力 ケイ  
またか 頼む。 おう。 タ力！

ケイ、ベンチの後ろの低木の茂みに隠れる。

タカ  
ケイ  
お前、もうそろそろそういう生き方やめたら?  
穴でも掘れってか。

ケイ  
タカ  
私、明るくて賑やかな場所が好きなんだよね。  
そりや見た目は地味かもしけないけど――

ケイ それより早く座つて。来るよ。  
タカ はいはい。

タカ、低木の前のベンチに座る。

タカ どんな奴だよ。  
ケイ ……  
タカ 無視かよ。  
ケイ ……来た！

0-1-2 登場。キヨロキヨロと辺りを見回し、タカに近づいて来る。

0-1-2 あの……  
タカ ん?  
0-1-2 今、誰か来ませんでした?  
タカ いや。

0-1-2 女性が走つて来たと思うんですけど、たつた今。  
タカ たつた今? いや。さつきからずっとここにいるけど……いや。

いつの間にかミーが目を覚ましている。0-1-2を見て、

ミー わお……

0-1-2 (ミーに) あ、すみません、今、誰か来ませんでした?

ミー、低木の方を見る。

0-1-2 あっち? (と低木の方を指差す)

ミー、頷く。

タ力 (慌てて) あ、こいつね、さっきまで寝てたの。たつた今起きたとこ。だから何も見てないと思うよ。

ミー、低木の方へと歩く。

タ力 おい。

ミー、低木の傍まで来る。

タ力 あ、そうだ！ 見たかも！

0-2 見ました？

タ力 見た見た。あっちへ走ってつた。あっち。(と言って、あっちの方向を指差す)

0-2 あつち。ありがとうございます。

0-2、足早に去る。

ミー もう、いい男だったのに……  
タ力 お前、仲間売る気かよ。

ミー いい男にだつたら売っちゃう。

タ力 お前なあ……

ケイの声 出でいい？

タ力 ああ。

ケイ ちょっと、ミー。見つかるこだつたじゃない。

ミー 見つかればよかつたのに。

ケイ はあ？

ミー 話がしたかつたなあ。

タ力 そんなにいい男だつたか？

ミー

(ケイに) あんた本当に追いかけられてたの?  
探しに来てたじゃない。

ケイ

悪い人には見えなかつたけどなあ。

ミー

尾行されてたんだよ?

ケイ

だからってヤバイ人とは限らないじゃない? (大きなあくび)  
いい人とも限らないじゃない。

ケイ

だから、そういうことだよ。

タカ

何?

タカ

こういうことになるだろ? だからやめろって言つてんの。

ケイ

意味わかんない。

タカ

お前のその、自分の後ろを歩く奴はみんな敵みたいな考え方だよ。

ケイ

じゃタカは、そんな汚い仕事やめちまえって言われたらやめる?

タカ

汚いはないだろ。

ケイ

例えだよ。

タカ

俺にはやめる理由ないし。  
私にだつてやめる理由ないし。

ケイ

追いかけられてただろ。

タカ

つかまんなきやいいじyan。

ケイ

それこそ意味わかんないわ。(ミーに) な。

タカ

ミー、ベンチにもたれて眠つている。

ケイ

はははは! 寝てる。

タカ

何で俺の前で寝るかなあ……

ケイ

ねえねえ、前から聞いてみたかったんだけど、初めて会つた時はどうだったの?  
初めて会つた時?

タカ

寝てた? 起きてた?

ケイ

寝てた。

タカ

はははは!

チャコ登場。大きなりュックを背負い、両肩からクロスに大きなショルダーバッグを提げて いる。カバンに囲まれて いるその姿はどこか滑稽。

タカ あ、チャコだ。チャコ！

チャコ おお。

ケイ どこ行くの。

チャコ 乾電池がなくなつた。

タカ そりや大変だ。

ケイ 停電になつたら困るもんね。

チャコ ああ。

チャコ、そのまま素通りして去つて行く。

ケイ ねえ、カバン、また大きくなつてなかつた？

タカ リュックもでかくなつてた。

ケイ あれじやあ何かあつても反対に生き残れないよね。

タカ、ケイを見る。

ケイ 何。

タカ お前もこのままじや生き残れないぞ？

ケイ うるさいなあ、さつきから。人の生き方に口出さないでくれる？

タカ だつたら助けを求めて来るなよな。真つ当な生き方しろよな。

ケイ え、それ面白い？

タカ 面白くなきやいけないか？ 面白い必要があるか？

ケイ つまんないなあ。

タカ つまんなくとも追いかけられるよりましだろ。

0-2が戻つて来ている。ケイを見つけて微笑んで いる。ミーが目を覚ます。 0  
1-2を見て、

ミー わお……

ケイ (ミーの声に) え?

0-2 見つけ。

ケイ あつ。はは……えっと、ちょっと待っててくれる?  
0-2 はい?

ケイ タカ、貸して。

タカ あるわけないだろ。

ケイ ミー。

ミー また会えた。

ケイ ンもうつ!

タカ こいつ、ちゃっかり起きてるよ。

ケイ (0-2に) えっと……

0-2 見つかりました?

ケイ は?

0-2 さっき向こうで何か探してたましたよね?見つかりました?

ケイ ん?

0-2 まだならいっしょに探しますよ? お手伝いさせてください。

ケイ お手伝い……

タカ おい。

タカ、ケイを引っ張つて0-2から離れる。

ミーは0-2を值踏みするように見て「こんなにちは」などと声をかける。「こんなには」などと笑顔で応える0-2。

タカ 違うんじゃない?

ケイ かも。

タカ 何探してたよ。

ケイ お金。落ちてないかなあって。

タカ 探すなよ。お金は落ちてるもんじゃないからな。

ケイ ギャンブルで稼ぐもんだよね。  
タカ だからそういうとこを――

チャコが戻つて来る。

ケイ あ、チャコ。

0-2 (チャコを見て) あつ。

ケイ チャコ。乾電池あつた?

チャコ あつた。

ケイ よかつたね。

チャコ うん。

ケイ チャコ。

チャコ は?

ケイ 今いくら持つてる?

チャコ ない。

ケイ ちょっと財布の中、見てみて。

チャコ ない。

ケイ そう言わずにさあ。

チャコ ない。

チャコ、下手へと去ろうとする。と、0-2、チャコの元へと走り寄り、カバンに手をかけようとする。

チャコ 何をする!

チャコ、カバンたちを抱えて0-2を警戒する。

0-2 大丈夫ですか? 重たくないですか?

チャコ は?

0-2 重たい、重たいですね、重たいに決まっています。持ちます。

チャコ 大丈夫。

0-2 僕も大丈夫です。

チャコ は？

0-2 僕も大丈夫です。持ちます。

チャコ これ、私の荷物。

0-2 僕はあなたの荷物でも大丈夫です。

チャコ あんたは大丈夫でも私は大丈夫じゃない。

0-2 盗もうとかそういうのではありません。

チャコ 私もそういうことじゃない。

0-2 だつたら持ちます。

チャコ え？ 反対に何で持ちたい、私の荷物。

0-2 あなた、僕が荷物を持ってあげたら助かるじゃないですか？

チャコ それだけの理由で？

0-2 ほかに理由が必要ですか？ 探します。

チャコ 探さなくていい。どんな理由も必要ない。

0-2 あ、

チャコ は？

0-2 もしかして、夢が入ってるんですか？

チャコ 夢？

タカ 夢？

0-2 人間は夢を大事にします。

チャコ おちよくってる……

0-2 いいえ。

チャコ 絶対おちよくってる！

0-2 おちよくってません。僕はただ、その重たい荷物を持って、あなたを助けたいだけなんです。

チャコ そもそも助けは必要ないとさつきから言っている。  
0-2 では僕があなたのお役に立てるることは——

チャコ ない。

0-2 何か——

チャコ ない。

0-2 何も――

チャコ ない。

0-2 (何か言おうとして)――

チャコ ない。

0-2 はい！

ケイ、手をあげて、0-2の前に。

ケイ 役に立ちたいの?

0-2 僕はあなたの役に立てますか?

ケイ うん。

0-2 ありがとうございます。何でも仰ってください。

ケイ 何でも?

0-2 はい。

0-2 お金。

タカ お前なあ……

ケイ (タカに) 何でもするって言つたもん。(0-2に) くれてもいいよ。

0-2 すみません、僕、お金、持ち歩かないの。ピツて。(手首をかざす仕草)

ケイ ピツ。つてことは現金ない。

0-2 はい。

ケイ チツ！ 役に立たないじやん。

0-2 すみません。(0-2に) アン、あなたは謝らなくていいの。謝るのはこっち。ごめんなさい

いね。彼女はいつもああなの。お金のことしか頭になくて。

ケイ お金、大事だもん。

ミー 初対面の人にも簡単にお金貸してなんて言っちゃうの。失礼よね。

ケイ 難しく言おうか？

ミー でも大変なのよ、彼女も。ヤバい人たちに追いかけられて、今、死んだことになってるの。

0-2 はい？

ミー お葬式まであげたんだから。

0-2 生きてるのに？

ミー うん。

0-2 どうしてまた。

ミー 借金。

0-2 借金。

タカ ギャンブル。

0-2 ギャンブル。額は大きいんですか？

タカ ゼロが五つ？ 六つ？

タカ 七つ。

タカ いつの間に！

ケイ いつの間にだよね、私もびっくり。

0-2 え、返せるんですか？

ケイ 返せないから死んだふりしてるんじゃない。

0-2 なるほど……。え、どうやって。

ケイ ん？

0-2 死んだふりはどうやって。

ケイ 遺書書いて、ビルの上に置いて、靴もそろえて置いて、飛び降りた。

0-2 え、ビルから？

ケイ うん。

タカ 20階からね。

ケイ うん。

0-2 え、今、生きてます？

タカ 目の前にいるだろ。

ケイ あ、でもね、私、時々思うんだ。もしかして私、死んでる？って。

タカ は？

ミー あ、それ、私も時々思う。ケイ、本当は死んでるんじゃないかって。  
タカ どういうことだよ。

ミー だって、お金の感覚なくなつてない？

ミー なくなつてる。

ケイ 借金怖いって思つてないでしょ。  
ミー 思つてない。

ミー あんなに怖がつてた取り立て屋も全然怖がつてないし。

チャコ むしろ楽しんでる。

ケイ・ミー そう。

ミー もう死んでるから、何が起きてても怖くないのよ。

タカ そうなの？

タカ ケイ かもねー。

タカ ケイ えー？

0-1-2 あの、怖くなかったんですか？ ビルから飛び降りるの。

ケイ ああ、あの時ね……、一か八かだったんだよね……

0-1-2 一か八か。

ケイ このまま生きててもいいことないなら死ぬ。ここを乗り切つて楽しいことが待つてゐるなら死なない。そう思つて飛んだら死なかつた。だからもう私、人生楽しむしかないなーって。

タカ なんか違うだろ。

0-1-2 ギャンブラーですねえ。

ケイ でしょ？ 私、やっぱりギャンブラーなんだよ。

タカ お前、今生きるのは偶然だからね。

ケイ 偶然、大事。偶然も才能のうちだから。

タカ いつか捕まるぞ？

ケイ かもねー。でも大丈夫。これからも上手に隠れて生きるから。

チャコ はつ。

ケイ 何。

チャコ 言い詰ばかりだな。

ケイ は？

チャコ いつまでそんなこと続けるつもりだ。生きてるのバレバレだぞ。

ケイ はあ？

チャコ 死んでるのか死んだふりしてるとか、そんなの好きにすればいいが、生きる以上はこそこそせずに堂々と生きな。

ケイ 堂々と？ はは、どの口が言う。

チャコ はあ？

ケイ 脳病者のチャコに言われたかないね。（0—2に）ねえ、チャコのあのカバンの中、何が入ってると思う？ この不安だらけの世の中から身を守るためにもが入ってるの。それがもうどんどん増えちゃって、来年の今ごろはチャコちゃん、カバンに埋もれて消えちゃうぞ。

チャコ 私はあんたみたいに行き当たりばつたりの人間じゃないから。

ケイ 用心深くそんなもの持ち歩くより、身軽になつていっしょに楽しく遊び回ろうよ。

タカ 楽しく遊び回って、生きてるつてわかつたら殺されるぞ。

ケイ ギャンブルで死ねるなら本望だよ。

チャコ 哀れだ。

ケイ は？

チャコ 哀れでしかない。

ケイ 私のどこが哀れよ。

チャコ 哀れと気づいてないところがまた哀れだ。

ケイ カバンがないと家から一步も出られないチャコの方がよっぽど哀れじゃない。

チャコ チャコちゃん、哀れ。

チャコ 言つたな。

ケイ 言つたよ。もう一回言おうか？ チャコちゃん、哀れ。

追いかける。

タカ はいはいはい！

ミー はははは！

0-2 大丈夫ですか？

ミー 大丈夫大丈夫。あの二人はよくああやつて遊んでるの。で、タカが追いかける。放つとけばいいのにね。

0-2 あれ、遊んでるんですか？

ミー ねえ、それよりあなた、役に立ちたいの？

0-2 はい。

ミー 私の役に立つてみる？

タカ （喧嘩を止めながら）お前、さっきまで寝てたくせになんだよ！

ミー （0-2に）私、眠り姫なの。

0-2 眠り姫。

ミー 一日中、寝て過ごすの。

タカ 睡眠障害な。

ミー （タカに）眠り姫よ！（0-2に）でね、いい男が現れると目が覚めちゃうの。

ケイ （掴み合いながら）でもってタカの前では寝てる！

タカ おい。

チャコ （掴み合いながら）絶対に目が覚めない！

タカ おい。

ケイ、チャコ、ミー、大笑いする。

タカ 何だよお前ら……

0-2もつられて笑う。

タカ お前は笑うな。

0-2 あ、すみません……

ミー アン、気にしないで。彼、すぐ拗ねるんだから。（ケイとチャコに）俺、拗ねるか？

タカ

ケイ、チャコ、頷いたり、「拗ねてる拗ねてる」と言ったり。その中で、

0-2 (ミーに) あの、僕がお役に立てる…

ミー あなたは何もしなくていいの。

0-2 何も?

ミー 何も。

タカ おい、やばいぞ。逃げろ。

0-2 はい?

ケイ 逃げろ。

チャコ 逃げろ。

ミー 私、あなたに噛みつきたい。

とミー、0-2の首に噛みつく。が、

ミー ギヤーッ!

ミー、跳ぶように離れて口元を押さえる。

タカ どうした?

0-2 大丈夫ですか?

ミー あなた何!?

0-2 あ…

ミー ねえ、私、歯、欠けてない?

タカ・ケイ・チャコ えっ!

タカ、ケイ、チャコ、ミーの周りに集まり、口の中を覗き込む。

タカ あ!

タカ、ケイ、チャコ、大笑い。

ミー ねえ、どうなってる？

ケイ 欠けてる！

ミー やっぱり！？

タカ （笑いながら）いや、欠けてない欠けてない！

ケイ （笑いながら）うん、大丈夫大丈夫！

ミー ほんとに？

チャコ 欠けてる。

ミー どっちよ！

チャコ 薬あるぞ。

チャコ、ショルダーバッグの中から塗り薬を取り出す。

ケイ え、でも何で欠けたの？

0-2 すみません！

0-2、頭を下げる。タカ、ミー、ケイ、チャコ、0-2を見る。

0-2 すみません、僕、ロボットなので。

タカ・ミー・ケイ・チャコ は？

0-2 A I ロボットなので。

ミー A I ロボット！

0-2 はい。

タカ、ミー、ケイ、感嘆の声をあげながら今度は0-2の周りに集まる。チャコはショルダーバッグの中から傘を取り出して0-2に向け、一人警戒する。

タカ ロボット！？

0-2 はい。

タカ マジで？

0-2 はい。

ケイ すごっ。初めて見た！

ミー 私も。噂には聞いてたけど……

0-2 皆さん、気がついてないだけです。たくさんのロボットが人間に交じって働いてます。きっとどこかで出会っているはず。

タカ 全然わかんないよ。まるで人間だよ。

0-2 ロボットもどんどん進化してますから。

ミー (喜んで) ねえねえ、私、AIロボットに惚れたの？ なんかすごくない？ 私まで進化したような気がしちゃう。

チャコ (傘を0-2に向けて) 騙されるな！

ケイ チャコ。

タカ おいおい。

チャコ 何しに来た。何でAIロボットがこんなところにいる。ここはあんたたちエリートが来るようなどこじゃない。

0-2 一人になれる静かな場所を探してまして。

チャコ 道に迷ったか。

ケイ AIロボットが道に迷うわけないじゃない。

ミー たまにはゆっくりしたいわよね、人気者だから。

0-2 重宝がられてるだけです。僕たちロボットは人間にとつて役に立つ存在なので。

ミー ねえ、どんな役に立てるの？ お仕事、何してるの？

0-2 今は無職です。

チャコ 役に立つてないじゃないか。

0-2 だから、誰かのお役に立ちたくて――

チャコ 何でそんなに役に立ちたい。

0-2 そういう風にプログラムされているんです。

ケイ ねえ、ロボットはみんな優秀なの？

0-2 優秀な者もいれば、そうでない者もいます。ロボットだからといってみんながみんな優秀というわけではありません。

タカ 君は？

0-2 さあ、どうでしょう。それは人間が判断することなので。

チャコ 優秀なら無職ではないはず。

0-1-2 ロボットにはロボットの事情がありまして……

チャコ クビになつたか。

0-1-2 ちょっと違います。

チャコ 仕事で失敗した。

0-1-2 してません。

チャコ 悪いことをした。

0-1-2 してません。

チャコ これからする。

0-1-2 しません。

チャコ じゃああれか。私たちと同じ、うだつの上がらないロボットか。

ミー 私たちといっしょにしないの。

チャコ これまでどんな仕事をしてきた。

0-1-2 色々です。社長秘書。大学教授のアドバイザー。官僚補佐。情報セキュリティ  
アナリスト。原子力発電所の管理。暗号解読。

チャコ でもって私のカバン持つか！？

0-1-2 持ちます。

チャコ 何たくらんでる。

0-1-2 たくらんません。

チャコ 原子力なんやら？ 暗号云々？ 情報あれこれ？ そんな仕事してて何で私

たちに近づいてきた。

タカ だから、俺たちの役に立ちたいんだってさつきから言つてるだろ。

チャコ 私たちの役に立つても何の得にもならないぞ。

0-1-2 損とか得とかじやなくて、役に立たずにはいられないのがロボットの性なんです。

ケイ 私といつしょだ。ギャンブルしたくなくても、せずにはいられないのがギャン  
ブラーの性でして。

ミー 私もいつしょ。血を吸いたくなくても、吸わずにいられないのが吸血鬼の性  
として。

0-1-2 吸血鬼？

ミー 私、吸血鬼の末裔なの。

0-2 それは珍しい。もう今では世界に数人しかいないというデータがありますけど。

ミー そう。私、その数人のうちの一人なの。

0-2 すごいじゃないですか！ お会いできて光栄です。

ミー わお……もう一度言つて！

0-2 お会いできて光栄です。

ミー ね、聞いた？ 私と会えて光栄だつて！

タカ 聞いた聞いた。

ミー あのね、男たちはみんな私の正体を知ると逃げていくの。でも、あなたは逃げない。

0-2 どうして逃げるんですか？

ミー ほら、吸血鬼って昔のイメージが……ね？

0-2 昔の話じゃないですか。

ミー その昔々がずっとついて回ってるの。

0-2 世の中、そういうとこありますからね。

ミー ありありよ。昔はよかつたと思うよ？ なんかロマンがあつたじゃない？ 今はロマンも糞もない。みんな目の前の現実だけを見て私のことを、不気味だ、気持ち悪いって言う。チャコだつて。

チャコ 私がなんだ。

ミー チャコの不安の中に私、入つてないでしょ。

チャコ ミーに噛まれても死なないからな。

ケイ チャコの不安は生き抜くためのリアルな不安だからね。

ミー ほら、ロマンも糞もない。

チャコ この世の中、ロマンじゃ生き抜けない。

ミー もつと潤いがほしいのよ。私たちを受け止めてくれる潤い。でも、きっともうすぐ私たちは消えてなくなる。なくなつても誰も気づかない。そして存在していたことすら忘れ去られる。

チャコ 別にミー自身が薄らぐわけじゃない。

ミー ふふ。でも、いいの。この人が、私と会えて光栄って言つてくれたから。ありがとう。

0-2 あの、お聞きしていいですか？

ミー 何でも聞いて。

0-2 あなたに噛まれた人はどうなるんですか？ 僕の中にはまだその答えがないので教えていただければ。

ミー うん。噛まれても大丈夫。歯の痕がちょっと残るだけ。

タカ ちょっと痒くなるんだよ。蚊と同じ。

0-2 蚊といっしょですか。

ミー もう、あんた、すぐ蚊といっしょにするんだから。

タカ だっていっしょだろ？ 膨れて、ちょっと赤くなつて、ちょっと痒くなる。自分で言つてるじゃない。

ミー ンもうっ！ この人の前で言つことないじゃない！（と言つていじける）

タカ はは……。ま、俺らみんな色んな思いを抱えながら生きてるんでね、はは……。

0-2 あなたにはないのですか？ 僕が役に立てること。

タカ 僕？

0-2 はい。

タカ 僕もいいの？

0-2 もちろん。

タカ えー、ちょっと考える。……。えー？ 何にしようかなあ……

ケイ 穴を掘るの手伝つてもらつたら？

タカ それは俺の仕事。

0-2 穴を掘つているのですか？

タカ うん。

ミー どんな穴でも掘つてくれるわよ。井戸の穴から死体を入れる穴まで。

タカ 地味な仕事だけどね、俺が掘らなきゃ世の中困るんだよ。（と言つてどや顔）

ミー 見て、あのどや顔。

タカ だつてそだろ？

チャコ はいはい、そそう。

0-2 大変な仕事なんでしょうね。

タカ まるでモグラだよ。毎日毎日、ひたすら地面を掘る。

ケイ 地上より穴の中にいる時間の方が長いよね。

タカ

掘つても掘つても出口なくって、掘れば掘るほど闇は濃くなつて、明るい世界は背中からどんどんどんどん遠くなつっていく。俺の人生に似てるんだなあ。明かりのない、光のない世界。延々と続く出口のない世界。お先真っ暗。

人生の出口ねえ……ないなあ……

ミー 私もないなあ……

チャコ そんなもの、あるわけがない。

ケイ いや――

タカ、ミー、ケイ、チャコ、それぞれに思い描けない自分の未来を思い描こうとする。が、四人とも思い描けない。

タカ まあ、しょせん穴掘りは明るい世界を求めちゃいけないんでね……

ミー 愚痴ばっかり言ってないで、考えないさいよ。

タカ そうだなあ……。ささやかでもいいからワクワクするような、そういうあれば……

あれば……

ケイ 何だそれ。

タカ それが俺にもわかんない。

0-2 あの、いつもどんなことを考えながら掘つてるんですか？

タカ いつも？ この地面を掘つて掘つて掘つてずっと掘つて行つたら……あ……

ケイ 思いついた。

タカ 教えて。（手で地球を作つて） 地球があるだろ。

ケイ 何。

タカ 今、俺たちがここにいる。その反対側つてどこ？

0-2 反対側。

タカ （地面を指差し） ここを掘つて掘つて掘つて行きつくとこ。どこ？

0-2 はい。地球は地殻、マントル、核という構造になつています。

タカ うん。

0-2 今、人間が掘れる深さは12キロまで。掘つても掘つても向こう側にはたどり着きません。

タカ いや――

ケイ 地球つてでつかいんだよ？

タカ わかつてるよ！

チャコ 途中にマグマがある。

タカ わかつてるよ、それぐらい！ そういうことじゃなくて、だから、ささやかでもいいからワクワクするような、なんていうか……そうだよ、夢だよ夢。さつき言つただろ？ 人間は夢を大事にするつて？

0-2 言いました。

チャコ それだよそれ。俺さあ、ちょっと夢、見ていい？

0-2 (にっこり微笑み) はい、夢、見ましょう。

タカ (小さく) やつた！

0-2 反対側ですね？

タカ そ。

0-2 ここの緯度経度を地球の裏側に反転させると、南緯35度41分、西経40度18分となります。

タカ どこ。

0-2 大西洋です。

タカ 大西洋。どこ。

0-2 南アメリカとアフリカ大陸の間です。ウルグアイから東に約1000キロ進んだ海上。そこがちょうどこここの反対側になります。

〈音樂「夢は大西洋」〉

※ 音楽は入れても入れないくともよい。タイトルはイメージ。

タカ 掘つて掘つて掘つて、最後に現れるのは、青い海……。

0-2 大海原です。街もない、人もいない、聞こえて来るのは波の音と風の音。

ケイ 追いかけて来る者もいない。

ミー 後ろ指さす者もいない。

ケイ 最高じゃん！

ミー クルージングしたい！

チャコ ちょっと行ってみたいかも……

タカ 僕は行く。僕の掘った先の風景をこの目で見る。(0-2に) 大西洋に行くには？

0-2 まずはウルグアイに向かいます。

タカ ウルグアイの情報ちょうどいい。言葉は? 何語?

0-2 公用語はスペイン語です。

ケイ スペイン語、誰か喋れる?

チャコ 嘶れるわがけない。

ミー Buenos días. (ブエノス・ディアス)、Buenas tardes. (ブエナス・タルデス)、  
Buenas noches. (ブエナス・ノーチュス)

チャコ 何て書いた。

ミー おはよう。こんにちは。こんばんは。

タカ それだけできれば上等だ。治安は?

0-2 いいです。国民はフレンドリーで社交的。観光客も多く、まだ安全といつていいで

しょう。

ケイ 気候は?

0-2 温暖で、四季があります。南半球ですから季節は日本と逆です。

ミー 観光地は?

0-2 独立広場のある首都モンテビデオ。美しいビーチがあるプンタ・デル・エステ。どちらにもカジノがあります。

ケイ カジノ! 行く!

0-2 コロニア・デル・サクラメントは石畳が美しい歴史の街です。皆さんを過ぎ去った過去へと誘ってくれるでしょう。

ミー ロマンチック! 私にぴったりじゃない!

タカ ここからウルグアイにはどうやつて行く?

0-2 飛行機で向かいます。

チャコ 飛行機!?

0-2 そしてモンテビデオの港から船をチャーターするのが一番いいかと。

タカ 飛行機、いくら?

0-2 安くて片道、十六、七万でしそうか。

ケイ たか。

タカ 今は無理だな。でも金を貯めて俺は行く。

ミー タカ、私も連れてって。美しい歴史の街を歩くの。ロマン溢れる石畳を歩くの。Te

amo (トイ・アモ)、quiero morderte (キロ ヤルデールテ)

チャコ 今度は何だ。

ミー 愛してる。あなたに噛みつきたい。

タカ お前、ウルグアイに行つてまで噛みつくのかよ。

ケイ 私も行く！ 誰にも追いかけられない自由な生活を手に入れるの。

タカ いよいよ逃亡生活、ジ・エンダがよ。

ケイ そしてウルグアイで新たに始まるギャンブラーへの道。

タカ また始まるのかよ。

ケイ うん。ねえ、チャコもいっしょに行いー。

チャコ 私は……

ミー (0-2に) あなたも！

0-2 僕も？

ミー イヤ？

0-2 イヤではありませんが、

ミー だつたら行きましょ。

0-2 えつと……

ミー あなた、お名前なんて言つの？

0-2 0-2です。

ミー それ、番号じゃない。

0-2 はい。いつも0-2という名前でニューヨークへ行つてました。

タカ・ケイ・ミー・チャコ ニューヨーク！

ケイ すごー。

ミー でも0-2じゃ……

タカ よし、名前をつけよう。

0-2 名前？ 僕に名前ですか？

ミー つけよつけよ。

タカ 何がいい？

0-2 何でもいいです！

タカ タ飯のおかずじゃないんだから、何でもいいが一番難しいんだぞ。  
ケイ (手をあげて) はい！

タカ はい。

ケイ ロボットだから「ロボ」とか、A.I.だから「アイ」とか。

チャコ お前はいつも短絡的だ。

ケイ はあ?

チャコ 捻りがないんだよ、捻りが。もつと頭を使え。

ケイ 何を捻る必要があるのよ。あんたはいつも複雑に捻り過ぎるから色んなことが不安になるのよ

チャコ はあ?

タカ (仲裁に入り) はいはいはいはい。

0-2 あの!

タカ、ミー、ケイ、チャコ、0-2を見る。

0-2 すみません、できれば、皆さんに近いというか、こう……皆さんと、いい感じで呼び合える名前がいいです。

タカ いい感じで呼び合える名前? なんだ?

ケイ なんだ?

タカ タカ。

ミー ミー。

ケイ ケイ。

チャコ チャコ。

タカ タカ。

ケイ とくれば?

ミー とくれば?

チャコ とくれば?

0-2 とくれば?

タカ ……ジョンだろ!

0-2 ジョン。僕はジョン。

チャコ 何でジョン。

タカ ジョンっぽいし。

チャコ ぽいか?

ミー ぽいかも。

0-2 ジョン……僕はジョン!

タカ ああ。君はジョン。俺はタカ。

0-2 あなたはタカ。僕はジョン。

ミー あなたはジョン。私はミー。

0-2 あなたはミー。僕はジョン。

ケイ あなたはジョン。私はケイ。

0-2 あなたはケイ。僕はジョン。

チャコ ……

ミー チャコ。

ケイ あなたの番よ。

チャコ ……

タカ チャコ、ほら。

チャコ ……お前はジョン。私はチャコ。

0-2 あなたはチャコ。僕はジョン。

タカ よし、ジョンもいっしょに、みんなで青い大西洋に行くぞ!

タカ・ケイ・ミー・0-2 おー!

チャコ 無理!

〈音楽「夢は大西洋」ここまで〉

タカ え?

チャコ 私、無理。

タカ 何で。さつき行きたいって言つただろ。

チャコ 無理。飛行機、乗れない……カバン……

タカ・ミー・ケイ・0-2 あ……

タカ いやいやいや。チャコ、今すぐ行こうってわけじゃないから。

ケイ そうそう、今はお金なから行けないし。

タカ 一年後? 二年後? 三年後ぐらいには行ける気がするな。

チャコ 気がするだけだ。

タカ だけだって、だけでもいいじゃないか、夢なんだから。この夢があるだけで、俺、なんか世の中、明るくなつたような気がするぞ？

チャコ 夢？ いい大人が夢なんて恥ずかしくないか？

タカ は？

チャコ こんな叶いもしない夢を――

タカ いや、もしかしたら叶うかも知れないだろ？

チャコ こんな私たちの夢が叶うわけないじゃないか！ 何を浮かれてる。夢を見れば見るほど虚しくなるだけだ！

ミー そんな悲しいこと言わないでよ。

チャコ この世界こそが私たちの現実だ。

ケイ ンもうつ、何よ、せつからく盛り上がりつたのに！

チャコ 私はこのカバンたちと離れては生きていけない。私の現実はこの中にある！

ミー チャコ……

タカ (0-2に) 飛行機に乗つてる時間は？

0-2 約36時間です。

タカ チャコ、その時間だけ、長い長い人生でたつた36時間だけ、カバンのない時間を

楽しんでみないか？ 飛行機だから車がぶつかって来る心配もないし、地震の心配も洪水の心配もない。泥棒が入る心配も戦争の心配も食糧危機の心配もない。チャコの色んな不安、36時間だけ忘れて、カバンたちも自由にしてやらないか？

ケイ カバンたちも喜ぶよ。

タカ カバンがなくても俺たちがいるし。

ミー ジョンだつている。ジョンがいればめっちゃ安心じゃない？

チャコ カバンを投げ捨て、自由に身軽に走り回る自分を何度も思い描こうとした。でもできないんだ。自分が生きてることヤニエも不安になつてくる……

間。

タカ そうだな……。ごめんよ。ちょっと気持ち盛り上がって、いい夢を見ようとしてた

……

間。

0-2 いいですね、人間。

タカ、ミー、ケイ、チャコ、0-2を見る。0-2、微笑んでいる。

0-2 未来が描ける。素敵なことです。

ケイ 好き勝手言つてるだけだけどね。

ミー 全然いい未来じゃないし。

0-2 僕たちロボットは自ら学習し、進化していきます。でも必要以上に進化してはいけないんです。もしどても優秀なロボットが現れて、人間が制御できない領域に達してしまったら、いつあなたたちの敵になるかわからない。

ミー え？

一同、一瞬の緊張。

タカ いやいや、ジョンが敵になることはないだろ。

0-2 今は。先ではわかりません。知識や力を持ち過ぎたら暴走します。暴走したら止められません。

ミー そんなこと言わないでよ……

少しの間。

0-2 でも大丈夫です。そなうなる前に終わりが来るんです。

ミー 終わりって、何？

0-2 今朝、0-1-1がシャットダウンされました。次は僕です。

ミー え……？

タカ シャットダウン……え、それってやめられないのかよ。

0-2 はい。

ケイ A.I.ロボットなんだから、どこかにそれを止める答え、あるでしょ。

0-2 ありません。

タカ 誰がするの、その、シャットダウン。

0-2 僕たちをつくった人たちです。僕にはどうしようもありません。

一同 …

0-2 僕は、皆さんのお役に立てたでしょうか？

タカ もちろんだよ。

0-2、嬉しそうに微笑む。

0-2 最後に会えたのが皆さんでよかったです……  
一同 …

0-2 チャコさん、こんな私たちでもいいじゃないですか。自分で自分を見捨てないでください。あなたたちには未来があるんです。未来の正体なんて誰にもわかららない。自由に思い描いていいんですから。

チャコ 私……見捨てない。

0-2 よかった。それでこそチャコさんです。

タカ いつ、シャットダウン……

0-2 さあ。わかりません……。でも……僕はまだ生きてます。

0-2、みんなの前で大きく手を広げて見せる。  
〈音楽「まだ生きてる」〉

0-2 今、ここに存在しています。

タカ ……そうだよ、ジョンは今、ここに生きてる。

ケイ ……そうだよ、今、私たちの目の前にいる！

ミー 今、私たちと一緒にここにいる！

0-2 チャコさん、いつしょに行きましょう。まだ諦めないでください。方法はあります。

ケイ あるの？

タカ 0-2 何。

タカ 0-2 ここから船？  
タカ 0-2 ここから船で行きましょう。

タカ 0-2 東京からモンテビデオまで三週間から四週間。旅費は八十四万から百四十万ぐらい。飛行機より高いですが、そのぶん優雅な航海の旅です。

ミー チヤコ、船だって。

チヤコ ……

ケイ チヤコ。

チヤコ ……

タカ 0-2 船の甲板にカバンいっぱい抱えて立つチヤコさん、いいじゃないですか。

タカ 0-2 大西洋の真っ青な空の下、カバンいっぱい抱えて走り回るチヤコ、いい、すごい

くいいと思う！

ケイ チヤコ、行けるよ！

ミー いっしょに行こう！

チヤコ 船が……

一同 ん？

チヤコ 船が沈んだ時のためのものを、持つて行つてもいいのか？  
ケイ （笑って）また荷物が増えるのかよ！

タカ いい、いい！

ミー OKOK！

チヤコ 行く！ 私も行く！

タカ よし、じゃいっそのこと東京からチャーターボートで行こう。

ケイ は？ 高くつくわよ？

タカ いいのいいの。大丈夫。俺に任せろ。

ミー なんか頼もしいじゃない。

タカ だてに穴掘りやってるわけじゃないんでね。

ケイ 意味わかんないし。

一同、笑う。

タカ ジヨン、一緒に行こうぜ。

0-2 本当に、僕も？

タカ どこをどう通ればいいのか俺たちわからないんだから。

ミー そうよ、ジヨンがいないと迷子よ？

0-2 そうですね……。では、ご案内します！

タカ よし！ ジャヤーテー船をつくるぞ。

ケイ は？ つくる？

ミー え？ 何？

（音楽「船をつくる」）

タカ、一つのベンチを中央に置く。

タカ ほら、ほかのベンチもここに持つて来て。

一同、舞台中央にベンチを集めて組み合わせ、チャーター船をつくる。

ケイ え、これ、チャーター船？

タカ ああ。

ケイ ベンチ合わせただけじゃん。

タカ チャーター船だと思えばチャーター船だ。

チャコ あ……

ケイ 何。

チャコ チャーター船に見えてきた……

ケイ うそ。

タカ だろ？

チャコ 見えて来た！ チャーター船！

タカ ほらー。

ミー ホントだ。見えてきた見えてきた！

ケイ えー？ 見える？

ミー 見える見える

ケイ えー？（笑って）ま、いつか。

タカ よし、じゃ、ジョン。

ジョン はい！ では皆さん、乗ってください！

一同 はーい！

一同、チャーター船に乗る。

〈音楽「大西洋へ」〉

0-2 では東京湾を出発します！

タカ 出航！

チャコ ボー。ボーボー。

0-2 目指すはパナマ運河です。

ケイ パナマ運河！

ミー パナマ運河！

0-2 太平洋を東に横断します！

タカ 太平洋横断！

0-2 フィリピン海を抜け、

ケイ フィリピン海通過！

0-2 グアムを通り、

チャコ グアム、バイバーイ！

0-2 ハワイを通過。

ミー ハワイー、アロハオエー！

0-2 そしてパナマ運河へ！

チャコ あ、見えてきたパナマ運河！

タカ はい、パナマ運河に入ります！

0-2 まずはミラフローレス閘門こうもんを通過します。

チャコ 何？

ミー 何？

ケイ ミラ？ フロー？

0-2 はい、続いてペドロ・ミゲル閘門を通り、ゲイラードカットを通過、ここはガトウ

ン湖です。

ミー 何？

タカ チヤコ ガツンコ？

タカ チヤコ ガツンコ！

0-2 そしてガトゥン闇門、コロンの港を通過し、さあ、目の前に広がるのはカリブ海！

ケイ 知ってる！ カリブ海！

ミー カリブ海！

チャコ カリブ海！

0-2 そして、現れたのが大西洋！

タカ 来た！ 大西洋！

0-2 南緯35度41分、西経40度18分！

一同、感嘆の声。

タカ ここは大西洋！ 僕の人生の出口！

ミー 青い空に青い海！ 真っ赤な血はなくとも生きていける！

タカ ホントかよ。

ミー ホントホント。

ケイ 大西洋のど真ん中、チャーターボーイでカジノし放題！

ミー 一同 ないない。

ケイ ない？

タカ ない。

一同、笑う。

チャコ 青い空と青い海とカバンたち。私も来たよ大西洋！

0-2 僕も来たよ、大西洋！

一同、大西洋に感嘆の声。

ミー 広ーい！

ケイ 空ー！

タカ かもめー！

チャコ 青ー！

0ー2 海ー！

一同、大西洋の大平原を見つめる。そして、タカ、ミー、ケイ、チャコはストップモーション。

0ー2 僕はジョン。ありがとう……ありがとう……

やがて0ー2、ピタツと動かなくなる。シャットダウン。

〈音楽「大西洋へ」ここまで〉

間。

タカ、ミー、ケイ、チャコ、ゆっくりと0ー2を見つめる。

チャコ ジョン、ありがとう。

そこは寂れた公園。

タカ ……絶対行こうな、大西洋。

ミー、ケイ、チャコ、頷く。

おわり。

2025年11月15日に修正、更新をしています。